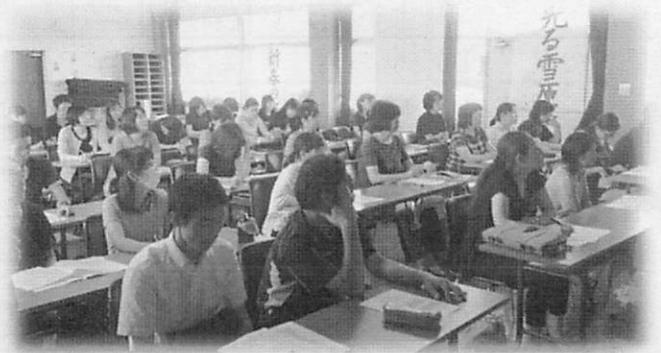


平成30年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	書写指導実技講習会
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・ 押木秀樹
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越国語教育連絡協議会 (担当者職名・氏名) 書写部会長・清水陽一郎 (能生中学校教頭)
4 事業の趣旨・目的	<p>国語科書写教育は、単なる手本の模倣という時期から、学習要素を明確にし、児童・生徒の文字を生かす指導へと移り変わっている。この段階においても、教師の書写技能および評価能力 (朱筆添削等を含む) の高さは、学習者の意欲面および学習効果の点で重要な意味を持つと考えられる。</p> <p>本講習会では、本学学生および上越地域の小中学校教員を対象とし、上越国語教育連絡協議会書写部会との共催により、教師の書写実技能力の向上を図ろうとするものである。</p>
5 事業活動報告	<p>下記の通り、実施した。参加者数は、上越地区の小中学校教員 21 名、中学校教員 12 名、特別支援学校教員 1 名の計 34 名であった。</p> <p>日時 平成 30 年 7 月 25 日 (水) 13:20-16:30</p> <p>場所 上越市教育会館 大会議室</p> <p>日程 13:30- 理論「書写学習の考え方として—新学習指導要領における書写など—」 押木秀樹 (本学)</p> <p>14:10- 実技</p> <p style="padding-left: 40px;">小学校 3 年 月岡優子先生</p> <p style="padding-left: 80px;">4 年 笹川年子先生</p> <p style="padding-left: 80px;">5 年 市村康子先生</p> <p style="padding-left: 80px;">6 年 小林幸恵・木村範子先生</p> <p style="padding-left: 40px;">中学校 阿部浩・小林由希子・朝妻幸月先生</p> <p>16:20- 講評・閉会</p>
6 本事業で得られた成果	<p>理論と実技のバランスを大切にしつつ、講師が書くところを見る、また参加する教師の皆さんが実際に書くという点を重視している。また講師を中堅クラスの教諭が担当することで、すぐに生かせる内容であったといった評価が感想として得られている。</p> <p>なお本学講 202 教室は、地域で唯一の書写実技がおこないやすい大教室であり、従来同教室を使用して実施してきた。しかし、今年度も実施日の関係から使用することができず、上越市教育会館を会場とした。実施日は、現場の先生方の日程からある程度絞られることから、来年度以降、慎重に計画していく必要がある。</p> <p>なお、学内での周知が十分できず、学内からの参加者がなかった。改善したい。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	(講習会資料)

上越国語教育連絡協議会 上国連書写指導実技講習会



平成 30 年 7 月 25 日 (水) 13:20~16:30

於 上越市教育会館 大会議室・中会議室

共催 上越教育大学地域貢献事業

上越国語教育連絡協議会

- 1 講師 ・上越教育大学教授 押木 秀樹 様
・上国連本部書写委員 清水陽一郎・月岡優子・笹川年子・
市村康子・小林幸恵・木村範子・
丸山徳子・村山美智子・阿部浩・
朝妻幸月・小林由希子

- 2 内容 **理論編**
「新学習指導要領における書写について」 押木 秀樹 様

実技編

上国連書写技能認定書き初め会の課題を用いた実技講習

- ・Aグループ……小学校3年生 ○月岡 優子・清水陽一郎
・Bグループ……小学校4年生 ○笹川 年子・丸山徳子
・Cグループ……小学校5年生 ○市村 康子・村山美智子
・Dグループ……小学校6年生 ○小林 幸恵・木村範子
・Eグループ……中学校行書の書き方全般 ○阿部浩・朝妻幸月・小林由希子

- 3 日程 13:20 開会式 ①開式の言葉 ②上国連会長挨拶 ③講師紹介
④講習内容等連絡 ⑤閉式の言葉

13:30 理論編開始

14:00 理論編終了 休憩 (実技編会場づくりを含む)

14:10 実技編開始 (途中休憩を含む)

16:10 実技終了 片付け

16:20 閉会式 ①開式の言葉 ②講師講評 ③書写委員長御礼
④諸連絡 ⑤閉式の言葉

- 4 備考
- ・理論編終了後、該当コースの活動場所を作ります。ご協力をお願いします。
 - ・グループ別に本部書写委員がついています。どんどん質問をしてください。
 - ・仲間同士で大いに学び合いましょう。
 - ・必要に応じて、違うグループの話の聞いたり、書きに行ったりするなど、自由に動かれても結構です。
 - ・上教大地域貢献事業で書き初め用紙と墨汁を用意しました。ご利用ください。
 - ・上国連推奨大筆「習作」等は、会場にて購入可能です。
 - ・購入したペットボトルや持参した飲み物等を持ち込まれて結構です。
 - ・筆や硯は、会場の都合により、墨汁をよく拭き取って、ご自宅でお手入れをしてください。半紙等のごみは会場のごみ袋にお捨て下さい。
 - ・お帰りの際に、感想・アンケート用紙に当講習会の感想をお書きになり、受付テーブルにご提出くださいますよう、お願いいたします。

筆を持って字を書く 時間を共にしませんか



上国連 第十五回書写指導実技講習会のご案内

上国連書写委員会では、「初めて書写をを担当するので、教え方が分からない」「での子もよい字が書けるよ」と書写指導のことがつきたい」といった国語科書写指導のニーズに応えるべく、書写指導実技講習会を毎年行っています。

今年で十五回目の当講習会は、上越教育大学地域貢献事業との共催で実施しています。上越教育大学の押木秀樹教授から、書写指導に関する理論や最新情報のご講義をいただきます。今回のトピックは、文化庁「常用漢字の字体・字形に関する指針の内容や、新学習指導要領における書字動作に関する内容」です。

そして、実技研修も実施します。参加者と本部書写委員が一緒になって筆を持ち、和気藹々とした雰囲気の中で、書き初めの課題を書き、書写指導に必要な実技の技能を磨きます。暑い夏に、クーラーのきいた部屋で、じっくりと字を書く時間は、至福の一時です。リピーターが多い当講習会。参加したことがない先生も、この機会にぜひご参加ください。

一期日 平成三十年七月二十五日(水)

午後一時二十分～四時三十分

二会場 上越市 教育会館 二階会議室

上越市土橋八一六一

TEL 025-5255-5565

三講師 上越教育大学教授

押木 秀樹 様

上国連本部書写委員

四内容

理論編 書写指導のあり方

押木 秀樹 様

実技編 書き初め課題語句の実技講習コース

- | | | | |
|---|-----|--------|---------------|
| A | 小学校 | 書き初め課題 | 「お年玉」(三年・楷書) |
| B | 小学校 | 書き初め課題 | 「天空の星」(四年・楷書) |
| C | 小学校 | 書き初め課題 | 「光る雪原」(五年・楷書) |
| D | 小学校 | 書き初め課題 | 「新春の海」(六年・楷書) |
| E | 中学校 | 書き初め課題 | 「永久平和」(一年・行書) |
| | | | 「温故知新」(二年・行書) |
| | | | 「神秘探究」(三年・行書) |

五備考

- ・参加される方は、所属・氏名・希望コース名(A～E)複数選択も可能を、メールにて、能生中学校・清水宛にお伝えください。

申込締切日 七月十八日(水)

- ・実技がありますので、習字道具をご持参ください。また、汚れてもよい服装でご参加ください。
- ・上国連推奨筆(大筆)は会場で購入可能です。書き初め用紙は若干の配付分を用意してあります。
- ・暑い時期ですので、飲み物をご持参ください。

永久平和

温故知新

神秘探究

《連絡・問合せ先》
上国連書写委員長

糸魚川市立能生中学校
清水 陽一郎

TEL 025-566-2065

FAX 025-566-2465

yoichiro_shimizu@itoigawa.ed.jp

新春の海

光る雪原

会場は、上越市教育会館です！

満車の場合、指示に従って上越市

市民プラザに駐車してください。



お年玉

天空の星



書写学習の考え方として

「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」
「新学習指導要領」

書写に求められる学力
学習内容と方法

上越教育大学 人文社会教育学系
言語系(国語) 教授 押木秀樹

「書くこと」の変化

- 名前を書く
- 小説を書く

どんな姿が浮かびますか？

現在の姿 } 「書く」
40年前の姿 } 40年の変化

4000年近い歴史の中で



- 何も対応しなくて良いのだろうか？
- 100年後 1000年後のために
- 誰が？(会議室？ 現場？)
- 何をすべきか？

子どもたち：
「字を書くの
大好き」

改訂常用漢字表では /平成22年6月7日文化審議会答申 (1)改定常用漢字表作成の経緯

昭和56年に制定された常用漢字表が近年の情報機器の広範な普及を想定せずに作成されたものであることから、「漢字使用の目安」としては見直しが必要である～

漢字を手で書くことをどのように位置付けるかについては、情報機器の利用が一般化する中で、早急に整理すべき課題である。その場合(中略)「漢字の習得及び運用面とのかわり、手書き自体が大切な文化であるという二つの面から整理していく」必要がある。

(略)効率性が優先される実用の世界は別として、＜手で書く＞ということは日本の文化としても極めて大切なものである」という考え方を社会全体に普及していくことが重要である。

報告されたものとして

「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」

- 文化審議会国語分科会
- 平成28年2月29日
- http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingi/kai/kokugo/hokoku/pdf/jitai_jikei_shishin.pdf
- 三省堂 2400円(税別)
- ※ 以下、「指針」と略称

字形比較表について 2136字種

- 常用漢字表に用いられる明朝体
- デザイン差のある明朝体
- ゴシック体
- ユニバーサルデザインフォント
- 教科書体

十 手書き文字の字形の例

番号	常用漢字表	代表印刷	配当学年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章 Q&A 関連項目
365	休	キユウ	1	休休休休	休休 など	4-(4)(5)	Q38,68
366	吸	キユウ	6	吸吸吸吸	吸吸 など	3-(1),4-(4)	Q54,68
367	朽	キユウ		朽朽朽朽	朽朽 など	3-(1),4-(5)	Q38,54
368	白	キユウ		白白白白	白白 など	4-(6)	Q65
369	求	キユウ	4	求求求求	求求 など	3-(2),4-(4)(6)	Q56,68
370	究	キユウ	3	究究究究	究究 など	4-(2)(3)(5)	Q40,45,61,72,73

反応(一般論として)

- 漢字の採点を変えなければならないのか？

→原則からは、
理解できていれば、
問題ないはず！

- 指針がでたことで「とめ」や「はね」などの採点が、甘くなるのではない。甘くしなければならぬのではない。
- これまで、漢字は必要以上に厳しく採点されてきたのではない。
- 漢字学習の評価を甘くすることは、漢字文化の衰退を招くのではない。
- 漢字指導・書写指導の考え方が、画一的すぎたのではない。

- なぜ、とめ・はねなど※にこだわるのか？

- こだわる必要は、ない！
- こだわるべきである！

■ なぜ両方の意見がでるのだろうか？

■ おうちの方や一般の方の意見にどう答えるか？

※ 終筆特徴(とめ・はね・はらい)、送筆特徴(形状) 位置関係(間隔・接し方・交わり方)、大きさの関係(長さなど)

漢字学習が求める学力と 指針が示そうとしているもの

※漢字の学習内容：形状・読み方・意味や用法

字体

- 文字を文字として成り立たせている骨組み
- 文字の細部に違いがあっても、字体の枠組みから外れていなければ、その文字として認められる。

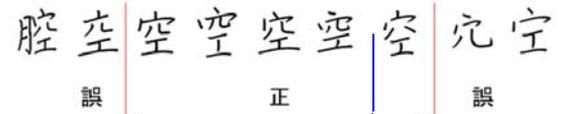
正誤

指針が示そうとしているのはこの範囲

字形

- 字体が具体化され、実際に表された一つの字の形
- 字形は、手書きされた文字の数だけ、印刷文字の種類だけ、存在する

字体の正誤 について



常用漢字表
および指針が
示そうとする範囲

批判・問題化：
独自の判断で **正誤**の
規準を設けようとする行為

学校教育で求める学力

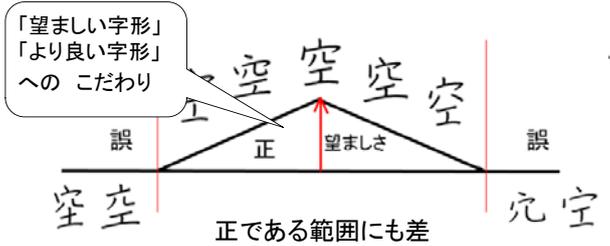
- 「読めればいいじゃん」「間違っていなければどんな字でもいいでしょ?」

↑↓

- 文字を用いたコミュニケーションが円滑に行えるよう適切に書ける能力

- 正しい「字体」で書ける
- 望ましい「字形」で書ける
 - 「文字を正しく整えて書くことができるようにする」「読みやすく速く書くこと」「効果的に文字を書くこと」(平成29年学習指導要領より)

字形の望ましさについて



※正である範囲に別の規準を設けようとするものではない。

字体と字形 漢字学習と書写学習

書写学習:

- 望ましい字形で書けること
- 正しい字体であることが前提

漢字学習:

- 正しい字体で書けること
- 字形を参照
- 正誤の判断は字形による



押さえておくべき課題



望ましさの根拠、
より良い字形の
条件は何か?

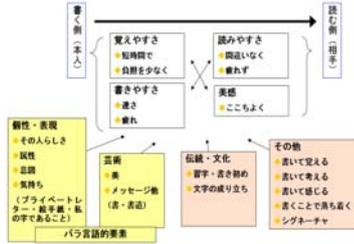
どうして、多様性を
認めるのか?

望ましい字形、より良い字形とは？ 手本そっくりに書かせることか？

■ 国語の学力としては

- 読みやすい
- 書きやすい
- 覚えやすい

- 丁寧か雑か
- うまい下手
- 達筆？
- 整っているか
- 美しいかどうか
- 芸術的か、個人的か



読みやすい字形のために

書写の学習内容
(⇒手本の模倣)
点画の長さ・画と画との
間隔・終筆特徴

■ 見慣れた字形と 近い特徴

心 心 心 心
心 心 心
? ル? ル?

■ 整齊さと 識別要素の明確さ

目 目 自 自 自
白 白 自 自
小 小 川 川 川 川

※ ↑ 画一的である方向性も間違いではないが、↑ そうでない方向性も

書きやすさのために

- 終筆特徴: 空中での動作に影響
- 左右の払いと機能
 - 左: 右回りの回転動作の機能性
 - 右: 波磔を起源とする装飾的要素
→書きやすさのための省略
- はねの意味
 - 上下動・水平動が同時の場合
 - →書きやすさのために発生
 - 化: 波磔を起源とする装飾的要素
- 整齊な字形のための接し方と動作
 - 読みやすさと、書きやすさの両面が関わる例



終筆特徴 と 空中での動作

「とめ、はね、はらい」

小 小 大 大

■ 「はね」などの終筆部の特徴は、字を書く際の空中での動作に関わる特徴である。

覚えやすさのために 1

■ 発達段階に即した指導

- 小学校低学年の児童に対して
 - とめ や はねなどの細かい指導が負担を増している？
 - 「ここはとめでもはねでもいいけれど、ここは必ずとめること」はありか？

- 細かな指導や一定の字形の指導は学習負担となるように思われがちだが、
- 学習を非効率的にしてしまう危険性
 - どこが許されるところでどこが許されないところかといった判断に迷いかねない
- 適切な字形に絞って指導することは、発達段階によって学びやすい、覚えやすい方法である

覚えやすさのために 2 字形特徴

- 左右いずれを好ましいと感じる？
- 左右とも、整った読みやすい字形

- 意外と「一画強調」が知られていない。
- 左の列: 横画の長さが皆異なる
- 右の列: 同じ長さで一画のみ長い
- 「三」「王」程度であれば、左のやり方で整えることは難しくないとされるが、「書」のようになると、どの横画をどの程度の長さで書くかは難しい。
 - 下段の「春」という字にも応用できる
 - 中段左: 印刷用フォント
 - 中段右: 歐陽詢・虞世南。

三 三
王 王
書 書
書 書
春 春

国語科書写の目的(解釈) 何ができるようになるか。

- (正しく、整えることで)
- 読みやすい字を
- 目的や必要に応じて<効果的に>
- 適切な速さで<速く> 書く能力の育成

すべての
手で書くことを、
楽しく、気持ちよく
できるように！

ほくの書いたの見て！
わたしの書いたの読んで！

※ 硬筆+(小3~)毛筆

書写の学習の概略 何を学ぶか？

- 姿勢・持ち方(硬筆・毛筆)
- 点画・筆圧などの動作(硬筆・毛筆)
- 筆順(空中での動作を決定)・点画のつながり
- 字形文字として
- 配列配置(大きさ・行・字配り)文字群として
- 書式(ノート・記録・掲示・手紙・のし袋)
- 速度能力として・目的に応じて
- 目的に応じ、効果的に書くこと
- 多様な文字への関心

書写の学習の概略 どう学ぶか？

- 主となる発問を、どちらでいくか！？

発問:「三」をうまくかくには？

- 姿勢・持ち方
- 点画・筆圧などの動作
 - 横画
 - 始筆
 - 送筆・曲直
 - 終筆・止め
- 字形
 - 長さ
 - 間隔
 - 方向
- 配置・字配り

目標:「三」という字を整えて書く？



教材の考え方

- 細かく学んで
 - これならできる！
 - わかりやすい
 - 動作として容易
- 広く応用
 - 勉強してよかった
 - 汎用性

上国連書き初めの重要性

小3	小4	小5
光る雪原	天空の星	お年玉
認定基準		
書写の観点		
1. 姿勢・持ち方(硬筆・毛筆) 2. 点画・筆圧などの動作(硬筆・毛筆) 3. 筆順(空中での動作を決定)・点画のつながり 4. 字形文字として 5. 配列配置(大きさ・行・字配り)文字群として 6. 書式(ノート・記録・掲示・手紙・のし袋) 7. 速度能力として・目的に応じて 8. 目的に応じ、効果的に書くこと 9. 多様な文字への関心		